

【懲戒処分】の記載例

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会

会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は氏名、
法人の場合は法人の名称及び代表者の職・氏名を
記載してください（押印不要）

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんを申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員（アルバイト、パート等）
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	サービス業 ※業種
あっせん事項		課長職への復帰、謝罪文の提出及び慰謝料の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	横領の事実はないことが判明したにもかかわらず、会社からは一切の謝罪もなく、精神的苦痛を受けた。 平社員への降格も理由がない。		
	使用者	横領の事実は無かったが、部下の監督不行届きにより、不適正な経理処理が行われ今回の事態が発生した。課長職への復帰等の要求には応じられない。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 入社し、営業員として勤務した。 〇年〇月〇日 営業課長に昇進した。 〇年〇月〇日 内部監査があり、横領の疑いがかけられ、同年〇月〇日付けで懲戒処分として平社員に降格され。 同年〇月〇日 横領の事実はないことが判明した。 同年〇月〇日 本社の人事課長に連絡をとり、課長職への復帰を求めたが、聞き入れられなかった。		
参考事項		同年〇月〇日、山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書（有・無） 就業規則（有・無） 労働組合（有・無） 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日（勤続年数〇年） 対応者 〇〇本社 人事課長 〇〇 〇〇		